

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

令和 5 年度

1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町放課後児童クラブ (教育政策部 教育課)
指定管理者	キャレオス株式会社 代表者氏名 代表取締役社長 藤井 克樹
指定管理期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日
指定管理委託料	45,034,000 円 (令和 5 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価
運営状況	・開館日数・開館時間等	開所 (270~291) 日 午前 8:00~午後 6:30 午後 2:00~午後 6:30 ※延長は午前 7:30、午後 7:00	A 厚生労働省令 63 号 第 18 条 開所基準 原則 1 年につき 250 日を最低数字のクラブで も上回る。
	・委託事業、自主事業の 実施	5 月以降徐々に感染症対策によ る様々な制限が緩和されてきて おり、以前の様な保育に戻りつ つある。	A クラブ内で楽しめる内容を 工夫しながらもボランティ ア講師(講師・ラグビー・銭 太鼓・読み聞かせ)の方々に 協力をもらい実施した結果、 児童には良い体験となった。
	・利用者の満足度	アンケート実施により満足度を 確認した。	A アンケート結果内、学童クラ ブの満足度 96.6% (充分満 足・やや満足) の回答を得た。
	・その他 (特記事項)	ICT (情報通信アプリ) の導入を 行った。	S 入退室管理・クラブからのお 知らせ・ご家族からの連絡 等、アプリを使って行うこと で保護者とのコミュニケーションを拡充するとともに 利便性の向上を行った。
施設維持管理	・清掃 ・植栽等管理 ・警備 ・設備保守 ・修繕	例年通りの方法で点検リストを 元にして丁寧に点検を実施した。	A 毎日チェックリストで点検 を実施し修繕が必要な箇所 は対応した。エアコンや空調 機器は定期的に清掃を行う ことで清潔さを保ち劣化を 防ぐようにした。
利用状況	・利用者数	登録児童数 482 名 クラブ別登録者月平均児童数 加古 (53) 名・母里 1 (35) 名 母里 2 (40) 名・天満 1 (57) 名 天満 2 (46) 名・天満 3A (44) 名	A 登録児童数は、通年・一時登 録者数合算で前年比 35 名増 (107%) となった。母里が 2 教室になり待機児童がいな くなった。

		天満 3B (44) 名・天満南 (39) 名 天満東 1 (73) 名・天満東 2 (52) 名		
	・施設稼働率	加古 (68) %・母里 1 (51) % 母里 2 (51) %・天満 1 (60) % 天満 2 (53) %・天満第 3A (49) % 天満第 3B (50) %・天満南 (41) % 天満東 1 (69) %・天満東 2 (60) %	A	コロナウイルスが 5 類になり、ご利用を制限される方もおらず稼働率に影響することはなかった。
収支状況	・収支計画	ほぼ計画通りの収支となった	A	職員採用の為の経費が掛かった。
	・経費削減の取組み	支援員各自に経費削減意識が定着してきている。	A	備品の交換、光熱費が増加。
運営体制	・人員配置	平日の支援員は補充できたが、長期休暇の支援員不足があったが、支援員の協力で乗り越えた。	A	支援員を募集し、補充することができたが、長期休暇の支援員不足は、支援員同士が協力することで勉強となった。また資格取得の声掛けを行い、有資格者を増やす取り組みを行った。
	・危機管理体制	月 1 回は各クラブで避難訓練を実施。また、毎月の会議、年 1 回のサービス向上委員会で発生事項を共有した。 全支援員への外部研修も実施。	S	各クラブで避難訓練を毎月実施。 リーダー会議では発生事項を共有し再発防止に努めた。
	・苦情要望等への対応	稲美町教育委員会と連携しながら、各案件について対応した。	A	案件は全クラブで共有し保育の向上に努めた。稲美町教育委員会の指導をいただきながら行った。
	・個人情報の保護及び情報公開	個人情報の確認を定期的に確認した。	A	リーダー会議にて重要性を再確認した。
	・その他 (特記事項)	稲美町放課後児童クラブとして統一し協力が出来るようにした。	S	稲美町放課後児童クラブ全体として統一し、クラブ同士が協力できる体制作りを努めた。
			総合評価	A コロナウイルスは、5 類になり徐々に感染症対策による様々な制限が緩和されてコロナ前の保育に戻ってきている。ボランティア等も利用し、児童はより豊かな経験が出来た。また、今年より指定管理者が弊社に代わり、最初は支援員にとまどいがあったが、会議や研修、訪問、面談等を行っていき、関係性が早く出来るように心掛けた。

3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

令和5年度も引き続き適正に管理運営が行われている。
各放課後児童クラブでそれぞれの運営をするのではなく、稲美町放課後児童クラブ全体として運営方法を統一し、クラブ同士が協力できるような体制作りを行っている。
また、コロナウイルスは第5類になり、制限されていた活動が緩和されてきた際にも適切な対応を行った。
ICT（情報通信アプリ）の導入は、保護者の利便性向上のみでなく支援員の業務省力化にも貢献した。
利用者の満足度も96.6%と高く、利用者ニーズに応えられていることも評価できる。

4 内部評価委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。
利用者アンケートの結果、総合的に「満足」「やや満足」と回答した人が96.6%と前年よりも高い満足度を得ていることが分かる。しかし、前年よりもアンケート回収率が低いため、アンケートの回収方法等を工夫されたい。
支援員やリーダーに対して児童に対する接し方やクラブの運営に関する研修を定期的実施し、セルフモニタリングを実施するなど積極的にサービスの向上に取り組んでいる点は評価できる。令和5年度から指定管理者が変更となったが、今後も適切な施設管理に努められることを期待する。

5 外部評価委員会による評価

総合評価	
------	--

--